

尚々其元無事之由

珍重存候、以上

過七日之御狀被見、然_者

竹嶋_江渡候其方船

朝鮮国釜山海_江流

され破損、荷物も悉

減少之由、然とも船頭

水子無恙對馬_ニ在之由

到来候へとも、從對馬殿

江戸_江被致注進之

彼使者帰次第荷物も

水子共も帰シ可有之由

紙面令承知候、對州

より右之者共帰参

次第様子聞届

江戸_江可被致参府候旨

一段尤候、殊雲州

とも嶋鯽_ニ唯饋給

過分之至候、我等儀無事

御用仕廻今日至

伏見一宿明日令上京

直_ニ江戸_江可罷下候

来春参府候_者其節

可申承候、恐々謹言

阿倍四郎五郎

十二月十三日 政重（花押）

大屋九（破損）